

第 20 回日本消化管学会総会学術集会・第 51 回日本潰瘍学会合同セッション
「消化管と他臓器相関」

司会 磯本 一（鳥取大学医学部消化器腎臓内科学）
堀江 俊治（城西国際大学薬学部薬理学研究室）

消化器は消化管と肝胆膵などの実質臓器からなる集合体である。腸管で吸収された栄養は門脈系やリンパ管系を介して肝臓に運搬され、消化管と肝臓の臓器連関は長く研究されてきた。近年は交感神経・副交感神経が拮抗して調節し、適切な消化管の蠕動運動や諸臓器の内分泌系および外分泌系の制御を介したメカニズムが解明されてきた。肝胆膵のみならず、消化管と脳、心臓、腎臓さらには筋肉といった各臓器間には巧妙で複雑な制御システムが存在する。健康維持には消化管と諸臓器間のコミュニケーションによる協調的な相互作用が欠かせないが、様々な消化管疾患において本来の消化管を起点とする臓器間ネットワークが不協或いは破綻していることが明らかになってきた。近年消化管と他臓器間ネットワークにおける腸内細菌の関与について研究もさらに深化している。本セッションでは消化管と他臓器連関に関する基礎及び臨床研究或いはトランスレーショナルリサーチの応募を募り最新の情報共有の場となれば幸いである。